

事業所名

児童発達支援 クリエイティブ・クルー ジュニア

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7 年

3 月

11 日

法人（事業所）理念		私たちクリエイティブ・クルー ジュニアは、子どもから大人になるまでの人生、そしてご家族の充実した人生の伴走者であり続けたいと思っています。「できないだろう」を出発にするのではなく、「できる」ことを前提に応援していきながら、「自分の力で人生を歩む」力につなげていきます					
支援方針		人生の応援となる3本柱を掲げています ①ご本人への応援…行動や言葉に隠された「本音」に密着し、生活するための力をつけます ②ご家族への応援…子育ての方針をともに考えます ③具体的な将来が見える場所…それぞれの人生をともに考えます					
営業時間		9 時	分から	18 時	分まで	送迎実施の有無	あり (なし)
		支 援 内 容				プログラム名	
本人支援	健康・生活	○健康状態の把握または改善や増進…日常の体調面などを把握しながら、衛生を保つ方法を提示、また体力をつけることなどを応援していきます ○生活リズムの確立および生活習慣の形成…家庭での状況も聞き取りながら、生活の見直しや改善方法などを、保護者とともに考えていきます ○基本的な生活スキル（排泄・食事など）の獲得…日常の生活動作場面を通じて、具体的なスモールステップを作り応援していきます				「排泄」「身辺整理」 「自立の為の身体づくり」	
	運動・感覚	○姿勢保持および運動や動作の基本的技能の向上…活動しやすい身体づくり（物事が見えやすい姿勢づくり）に取り組んでいきます ○さまざまな感覚を養う…活動を通し、普段意識していない身体の部位や動きへの気づきにつなげます ○指先の巧緻性や身体をコントロールする力をつける…身体を調整する力を身につけ、より微細な指先の動きなどを習得できるように応援します				「自立の為の身体づくり」 「製作、創作活動」	
	認知・行動	○生活においての必要な情報や知識の習得…物事を理解する為の「概念」「数」「ことば」を伝えていきます ○感覚や認知面に対する理解を深める…保護者ともご本人の日常の行動面をお聞きしながら、どのような視点で物事を捉えているのかをともに考えていきます				「課題学習」「製作、創作活動」 「自立の為の身体づくり」 「家庭療育アドバイス」	
	言語 コミュニケーション	○コミュニケーションに必要な手段の獲得…ご本人の意思表示のツールになるものを、成長に合わせながら習得できるように応援します ○より具体的なコミュニケーションの経験…「伝える」「伝わった」「共感」など、「対話」の積み重ねができるような機会を作ります				「課題学習」 「製作、創作活動」 「家庭療育アドバイス」	
	人間関係 社会性	○人と関わる土台づくり…まずは、職員との関係づくりを基盤に、人と関わることに對しての「安心感」を積み重ねていきます ○社会経験の積み重ね…散歩などを取り入れるなど、外出する機会を積極的に作りながら社会の中でのルールやマナーを知らせていきます				「課題学習」 「製作、創作活動」	
家族支援		親子通所を実施しています。保護者からの子育てについての悩みなどをしっかりと共有しながら、具体的な方法や関わり方などをご提案します。また定期的な面談および家庭訪問を実施し、より家庭の状況に合わせた応援ができるようにしています。		移行支援		就学に向けての準備および検討を保護者とともに考えます。 同法人内の就労継続支援B型との連結した成人期の暮らしについても知って頂く機会を作っています。	
地域支援・地域連携		外出などの機会を通し、保護者とともに公共の場へ出向く機会を作っています。また、園との連携および園訪問などを行っています。		職員の質の向上		虐待・感染予防等の義務化研修の実施 法人福祉事業部における全体研修・積極的な外部研修への参加 児童に対するケース会議および療育プログラムについての内部研修	
主な行事等		同法人内の就労継続支援B型と連携した成人期に向けての取り組みを年間を通して実施・製作を通しての季節の行事の取り入れ・外出などを通しての、マナーやモラルを学ぶ内容・将来に向けての職場見学会（ご本人および保護者向け） 保護者向け研修・ペアレントトレーニングなど					